

JSだより

連載 ②44

令和8年度組織再編について

～JSトランスフォーメーションが拓く新たな時代～(下)

経営企画部 次長
山田 敏史

前号において、日本下水道事業団(JS)の令和8年度の組織再編について、その背景や目的、新たな組織体制をご紹介しました。本稿では、業務の効率化や品質向上を目指して、今後進める取り組みや執務環境整備についてご紹介します。

1 業務改革の取り組み

7総合事務所・2設計センターから2支社体制への組織再編(前号参照)と並行して、業務の効率化と品質向上を目指した業務改革を実施します。(1)ストックマネジメント業務・耐震診断の業務分担見直し:これまで、ストックマネジメント(SM)業務や耐震診断業務は、計画支援課と専門設計課で分担していましたが、既存施設の更新や

耐震化の取り組みは、現場に即した仮設等の検討が重要で、設計段階での手戻りが生じやすくなっていました。これを見直して、計画支援課改め、計画設計課はSM全体計画のみを担当し、SM実施計画以降の業務と耐震診断業務は、基本設計の一環として専門設計課に一本化することとしました(図1)。

これにより、SM実施計画・耐震診断から実施設計・建設までを一連の建設プロジェクトとして捉え、業務効率化とプロジェクト品質の向上を図ります。

(2)設計エンジニアリングマネジャーの設置:これまでプロジェクトマネジャー(PMR)が技術的事項を含む委託団体への対応を担うことが多く、これがPMRの業務負担が過大となる原因となっていました。今回の見直しでは、設計エンジニアリングマネジャー(EMR)を設計マネジメント課(新設)に専任配置することとしました。EMRは、担当職種を持たずに、実施設計に関わるJS内外との技術的全体調整に専念させることとしています(図2)。

これにより、プロジェクト全体を俯瞰した技術的調整体制を構築し、プロジェクト品質の向上とPMRの業務負担軽減を実現します。PMRは技術調整業務から切り離されることで、技術・事務を問わないPMRの人材育成・配置が可能となります。

2 より働きやすい環境を目指して ～執務環境整備と人事制度の見直し

より働きやすい環境づくりのためには、執務環境の整備や人事制度見直しも重要な課題となります。

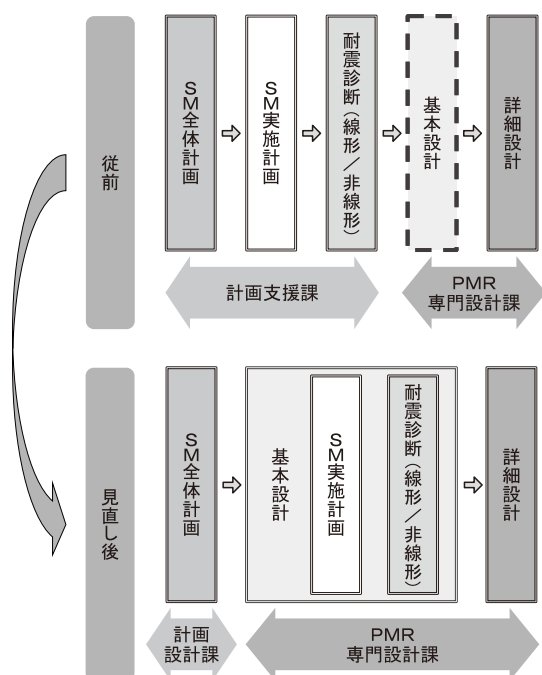


図1 SM業務・耐震診断の業務分担の見直し

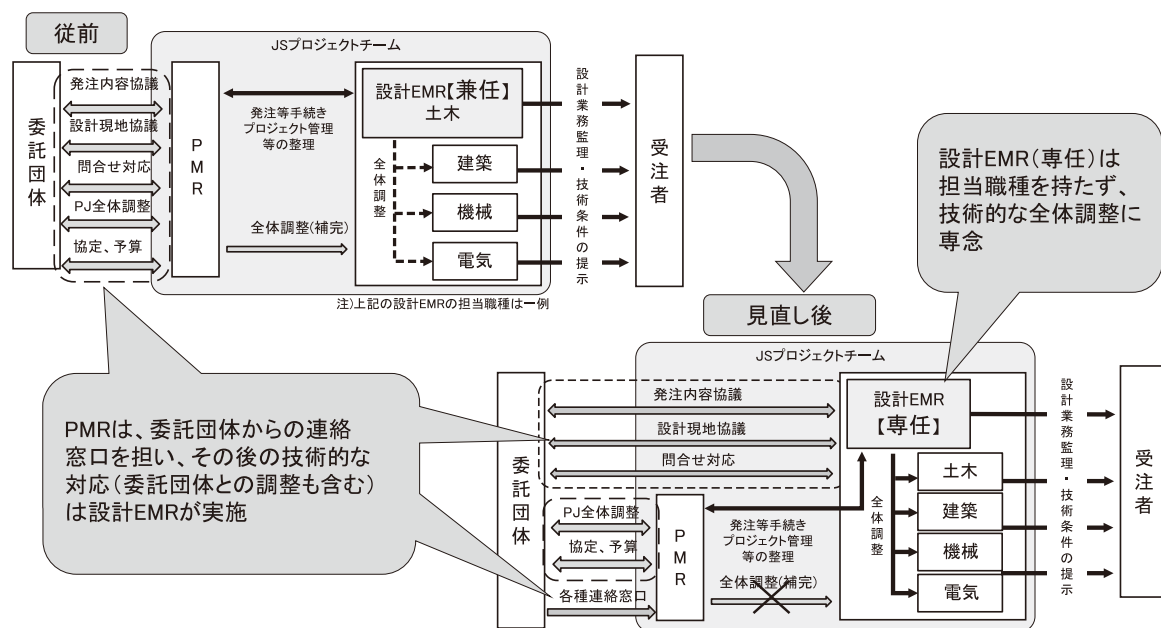


図2 PMRと設計の業務分担見直し（従前と見直し後）

す。西日本支社では、庁舎の移転はせずに職員の増員に合わせたレイアウト変更を実施しました。現在地（大阪御堂筋ビル・大阪市中心部）の利便性が高いことや、旧組織の西日本設計センターと近畿総合事務所がワンフロアに集約されており、今回の組織再編のねらいを先取りしているためです。

一方、本社及び東日本支社が入居する現庁舎は、以前から6フロアにまたがることによる部署間連携のしづらさが課題でした。加えて、今回の組織集約によって職員が増加することに伴い、一人当たり面積が狭隘になるといった執務環境の悪化が懸念されました。

そこで、庁舎のあり方について検討を開始し、財政シミュレーションや物件調査を重ねました。その結果、職員の執務環境改善につながるだけでなく、本社・支社が一体となって入居できる規模であること、立地の安全性が高く、業務継続計画（BCP）に資する優れた設計の物件であること、さらには人材獲得への好影響を考慮し、「仮称：明治安田新宿ビル」（東京都新宿区）への移転を決定しました（新庁舎での業務開始は令和9年夏ごろを予定）。

新庁舎では、JSトランスフォーメーションを加速させるため、ワンフロア化により部署間の垣根を取り払い、職員同士の情報交換や経験の共有を

活性化することで個人のスキルアップやキャリア形成を後押しします。JSでは、この移転を単なる場所の変更とせず、未来への「戦略的投資」と位置づけ、組織の成長と職員一人ひとりの働きがいを最大化する取り組みを進めてまいります。

また、全ての職員がワーク・ライフバランスを実現し、それぞれのライフステージに応じた働きやすさを選択できる職場環境の創出を目指し、執務環境の整備と合わせて、職員がより働きやすい人事制度の見直しに取り組んでまいります。

3 むすびに

これまで2回にわたり、JSが取り組んでいる組織再編を報告いたしました。今回の組織再編は、JSが未来に向けてさらなる進化を遂げるための重要な一歩です。私たちは、この変革を通じて、複雑化・高度化する下水道事業のニーズに的確に応え、プロジェクトの品質向上に努めてまいります。また、職員一人ひとりがその能力を最大限に発揮できる魅力ある組織を創出することで、持続可能な下水道インフラの構築・維持に貢献し続ける所存です。

今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。